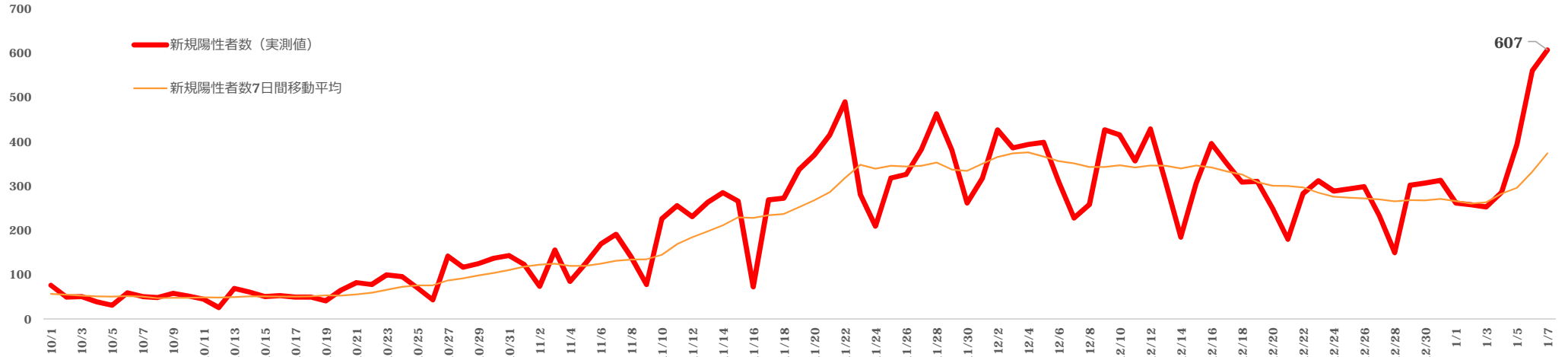


新規陽性者数と入院・療養者数（1月7日時点）

資料1 - 2

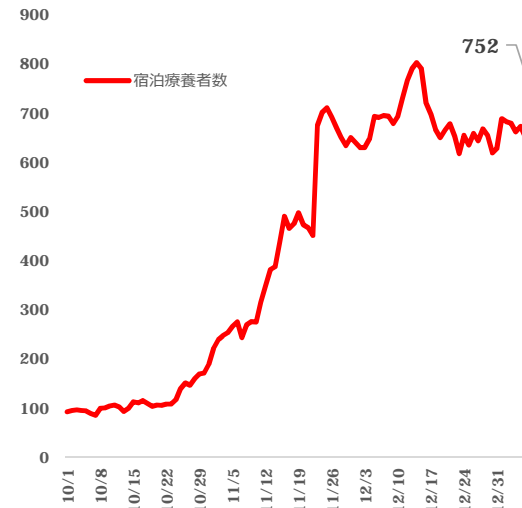
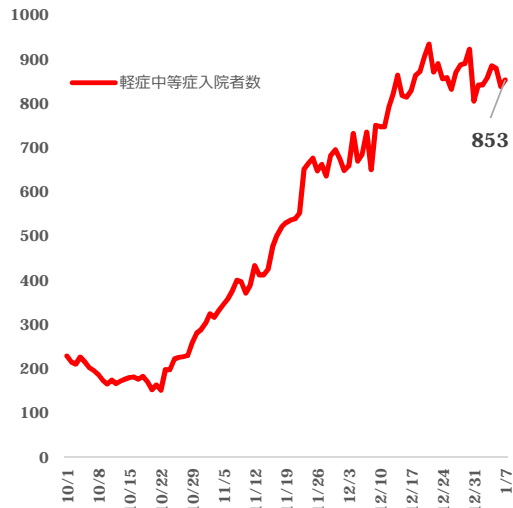
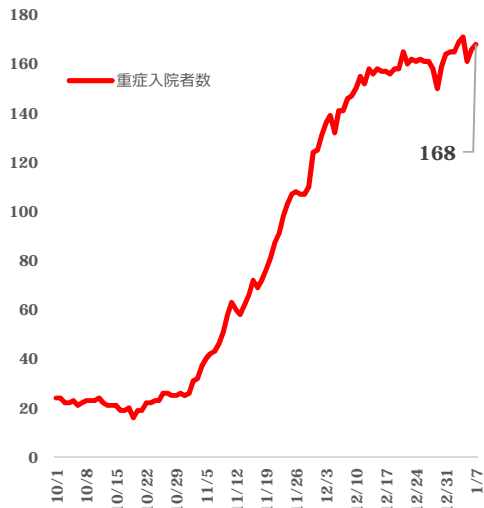


入院患者（重症）

入院患者（軽症中等症）

宿泊療養者

自宅療養者

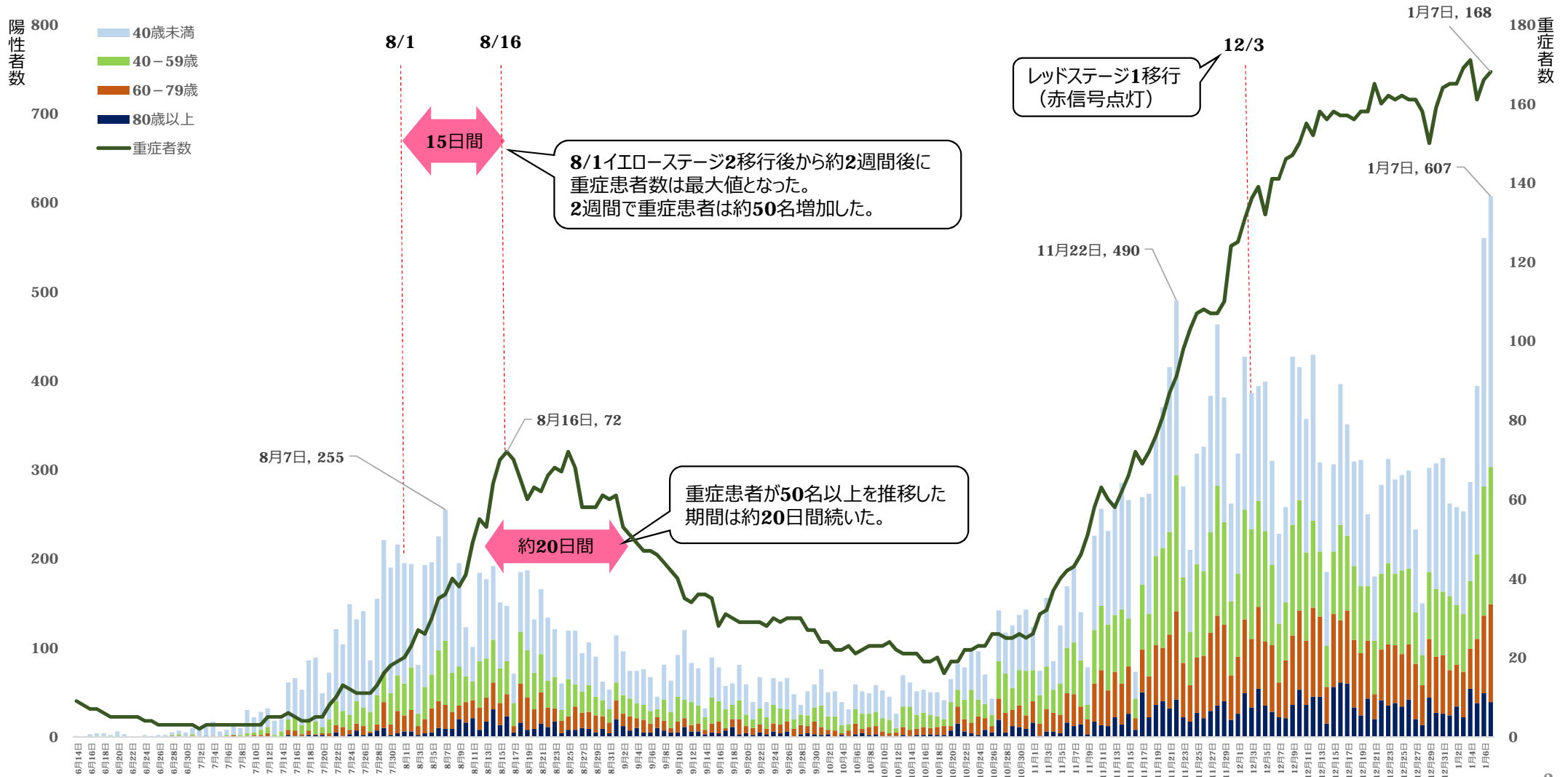


入院・療養状況（1月7日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	60床	500床	400室
	フェーズ2	80床	800床	800室
	フェーズ3	150床	1,000床	1,036室
	フェーズ4	215床	1,400床	—
確保数等 ※重症病床、軽症中等症病床について、 11月19日からフェーズ4へ移行		確保数236床	確保数1,336床	2,019室
入院・療養者数		168人	853人	752人
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)		71.2% (168／236)	63.8% (853／1,336)	37.2% (752／2,019)
(運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)		80.4% (168／209) うち、大阪コロナ重症センター (14／20)	67.5% (853／1,264)	37.2% (752／2,019)

※ 別途、自宅療養 1,538人

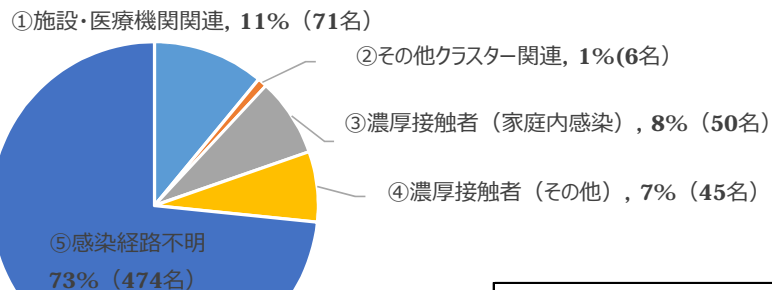
陽性者の年齢区分と重症者数の推移



【10/10以降】重症・死亡例について推定される感染経路（1/5判明時点）

10月10日以降の重症例**646**名について、推定される感染経路の7割強は感染経路不明者。
 死亡例**390**名について、推定される感染経路の5割強が施設・医療機関関連で、4割弱が感染経路不明者。

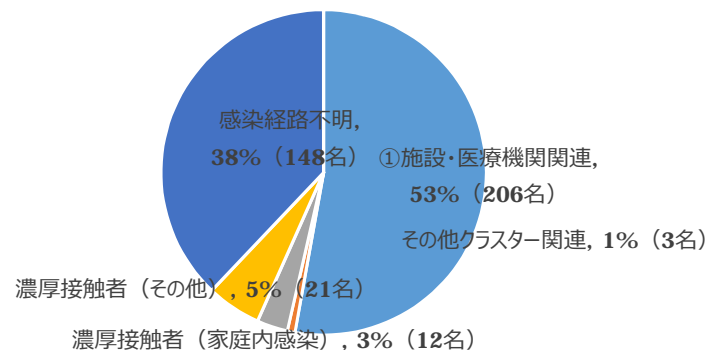
重症例（N=646）について推定される感染経路



施設・医療機関関連(71名)の内訳	
医療機関関連	37
高齢者・障がい者施設関連	34

死亡例（N=390）について推定される感染経路

※重症例**646**例のうち、**93**例は死亡のため重複あり



施設・医療機関関連 (206名)の内訳	
医療機関関連	99
高齢者施設関連	107

年代	重症例 総数	感染経路内訳				感染者 総数	重症化率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (その他)		
未就学児	1			1		334	0.30%
20代	1	1				3908	0.03%
30代	9			1	8	2,684	0.34%
40代	24			1	1	2,837	0.85%
50代	77	3	1	3	7	2,928	2.63%
60代	139	6		12	8	2,029	6.85%
70代	256	29	4	23	17	2,106	12.16%
80代	127	24	1	9	11	1,535	8.27%
90代	12	8			1	475	2.53%
計	646	71	6	50	45	18,836	3.43%

年代	死亡例 総数	感染経路内訳					感染者 総数	死亡率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (その他)	感染経路不明		
40代	1					1	2,837	0.04%
50代	8	3			1	4	2,928	0.27%
60代	28	6	2		2	18	2,029	1.38%
70代	101	47	1	6	5	42	2,106	4.80%
80代	172	92		4	8	68	1,535	11.21%
90代	75	54		2	4	15	475	15.79%
100代	5	4			1	1	19	26.32%
計	390	206	3	12	21	148	11,929	3.27%

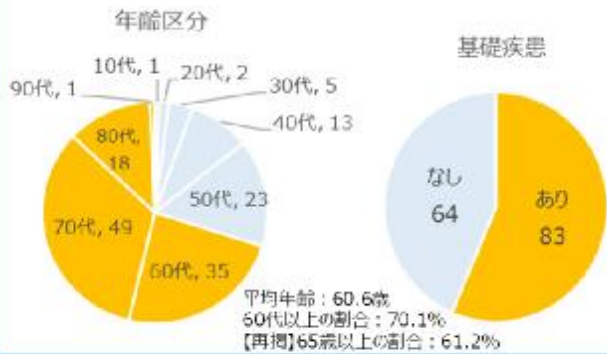
重症者のまとめ（令和3年1月5日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
重症者数	147
死亡	47
退院・解除	100
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

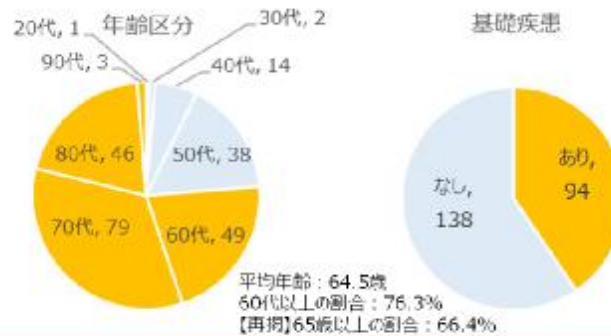
40代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.2%(139/1,054)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：21.1%(103/489)
 全陽性者数に占める重症者の割合：8.2%(147/1,786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
重症者数（※）	232
死亡	39
退院・解除	193
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

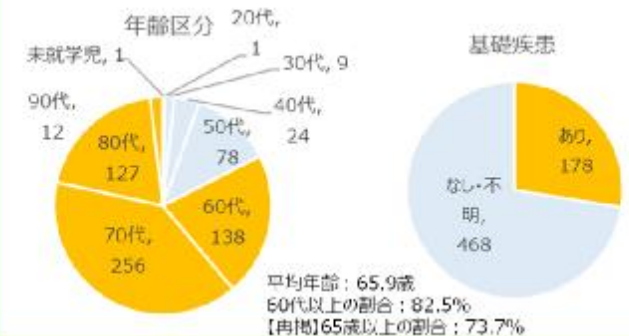
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が7例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.7%(229/4,012)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.8%(177/1,805)
 全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(232/9,271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	20,395
(再掲)40代以上(割合)	12,210(59.9%)
(再掲)60代以上(割合)	6,300(30.9%)
重症者数（※）	646
死亡	93
退院・解除	261
入院中（軽症）	131
入院中（重症）	161

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が3例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.2%(635/12,210)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.5%(533/6,300)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(646/20,395)



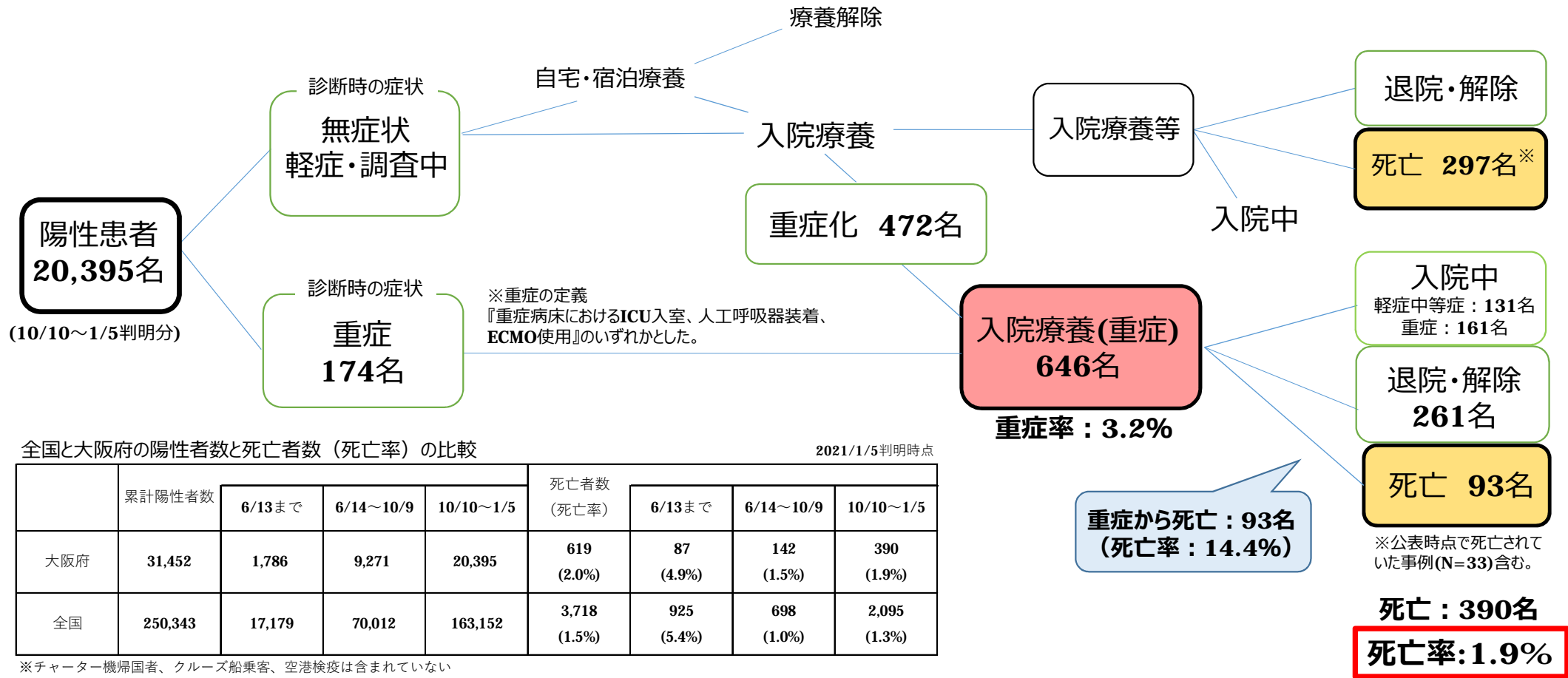
重症の定義：「重症病床におけるICU入室、挿管、人工呼吸器装着、ECMO使用」のいずれかだった。

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波は第二波に比べ、40代以上、60代以上いずれも重症化率は減少しているが、全陽性者に占める重症化率は第二波より高い。

【10/10以降】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年1月5日時点）

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/1/5判明時点

	累計陽性者数	死亡者数 (死亡率)		
		6/13まで	6/14～10/9	10/10～1/5
大阪府	31,452	1,786 (4.9%)	9,271 (1.5%)	20,395 (1.9%)
全国	250,343	17,179 (5.4%)	70,012 (1.0%)	163,152 (1.3%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（各自治体公表資料集計分）より集計。

第三波の死亡率は第二波を上回り、全国よりも高い。

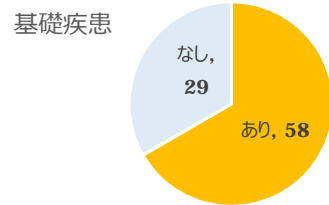
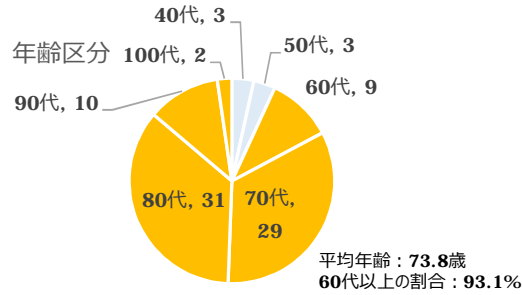
死亡者のまとめ（令和3年1月5日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
死亡者数	87

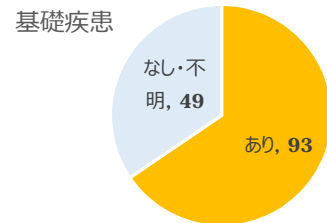
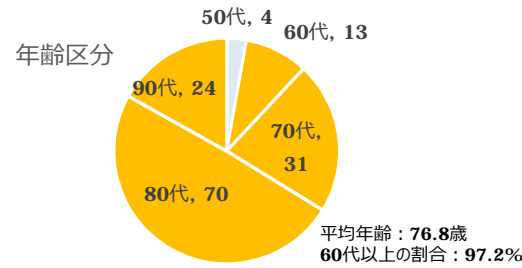
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：8.3%(87/1,054)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：16.6%(81/489)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：4.9%(87/1,786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
死亡者数	142

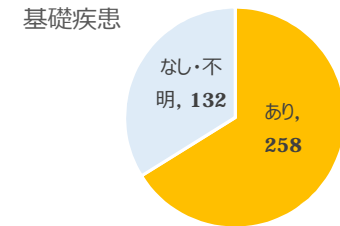
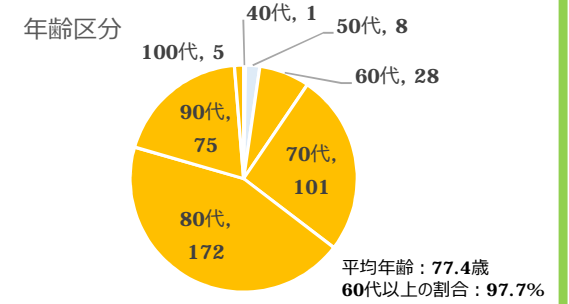
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.5%(142/4,012)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：7.6%(138/1,805)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.5%(142/9,271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	20,395
(再掲)40代以上(割合)	12,210(59.9%)
(再掲)60代以上(割合)	6,300(30.9%)
死亡者数	390

40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.2%(390/12,210)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：6.0%(381/6,300)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.9%(390/20,395)



基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波の死亡率は第二波を上回っている。

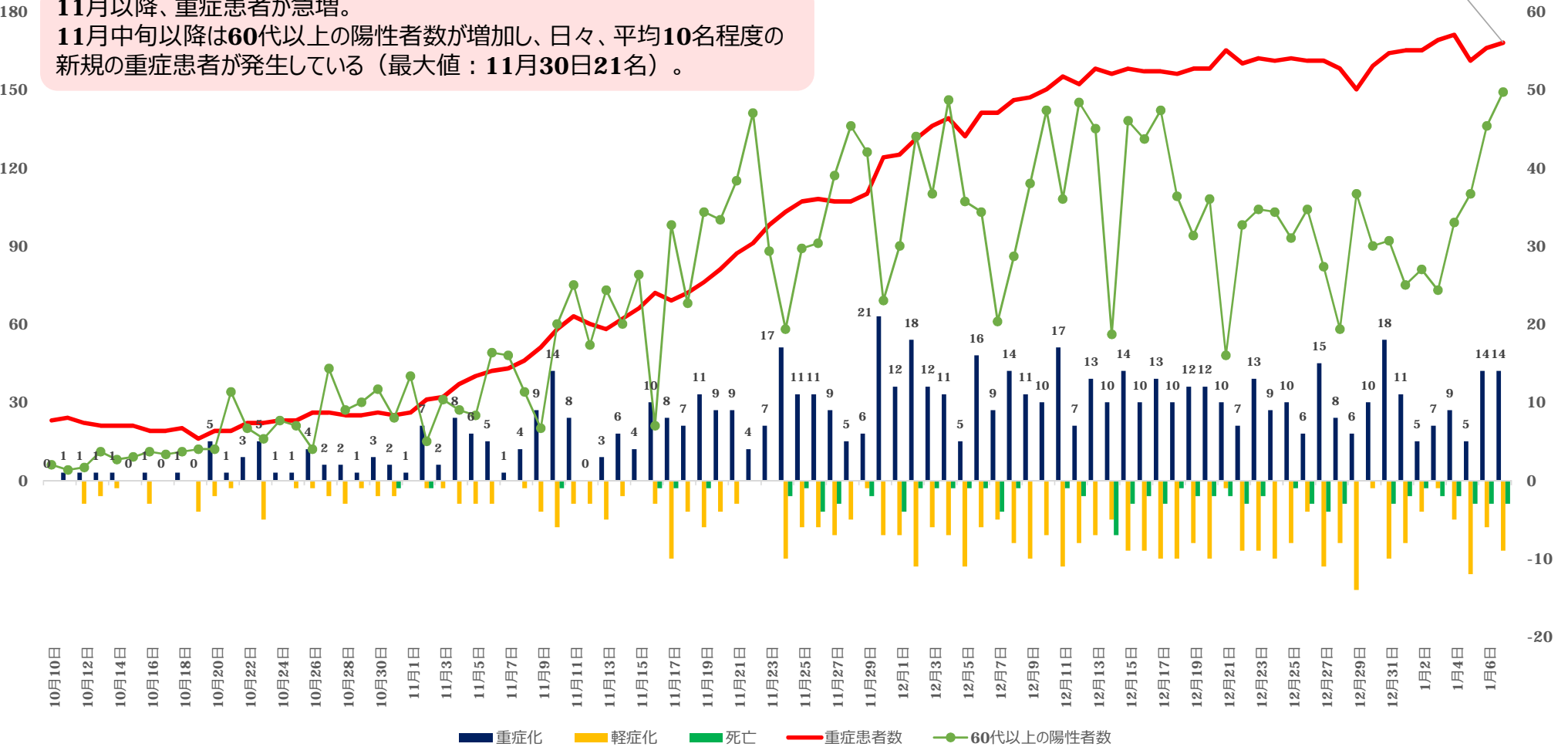
新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション 重症患者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

60代以上の新規陽性者数と重症患者数

11月以降、重症患者が急増。
11月中旬以降は60代以上の陽性者数が増加し、日々、平均10名程度の新規の重症患者が発生している（最大値：11月30日21名）。

重症患者数, 1月7日, 168

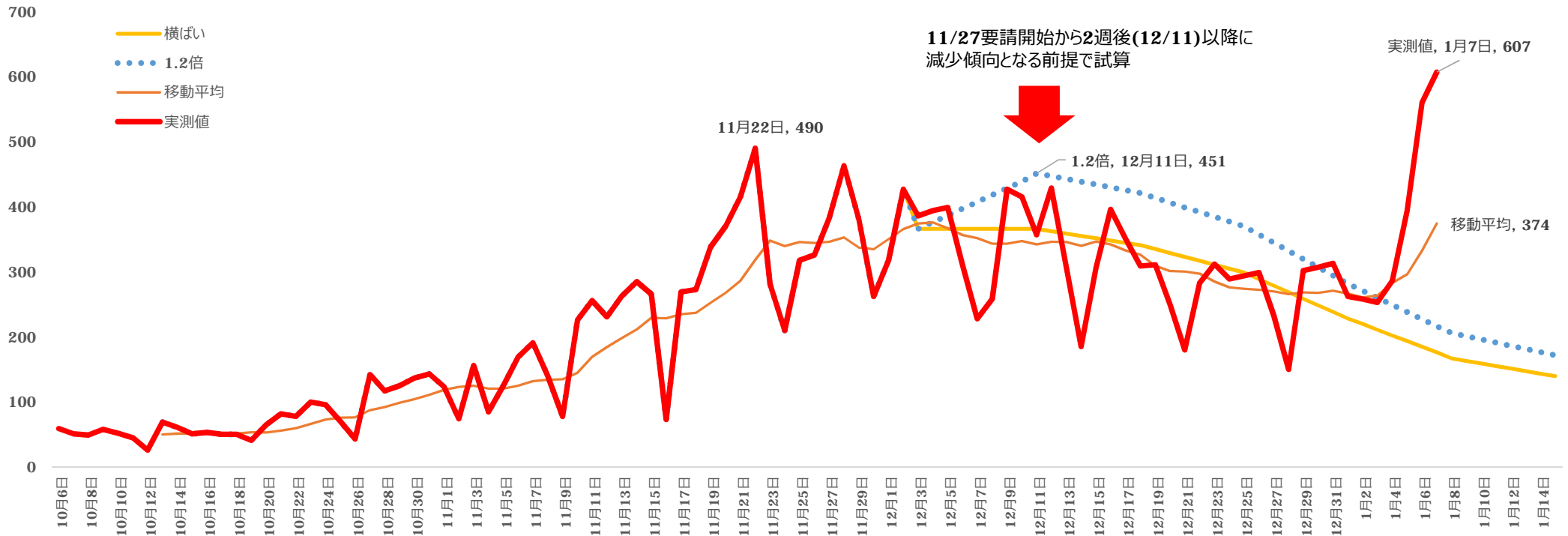


重症化・軽症化・死亡の人数

新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

- 第31回本部会議資料（資料 1-2）を同じ設定のまま1月15日までシミュレーションを実施（第二波（8/7以降）と同じ減少率（前週比）で減少していくと想定）。
 - ・想定①：12/3以降、366名/日（12/2時点の新規陽性者数の直近7日間平均）で横ばいとなり、12/11（11/27の要請から2週間後）以降減少していく場合。
 - ・想定②：12/3以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。

患者発生シミュレーション



新規陽性者数は、年末からシミュレーション値を超え、1月5日以降は大幅に上振れしている。

療養者数のシミュレーション

12月3日以降、以下の想定で新規陽性者数が推移した場合の療養者数のシミュレーションを実施。

- 想定①: 12/3以降、366名/日（12/2時点の新規陽性者数の直近7日間平均）で横ばいとなり、12/11(11/27の要請から2週間後)以降減少する場合。
- 想定②: 12/3以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加し、12/11をピークに減少していく場合。

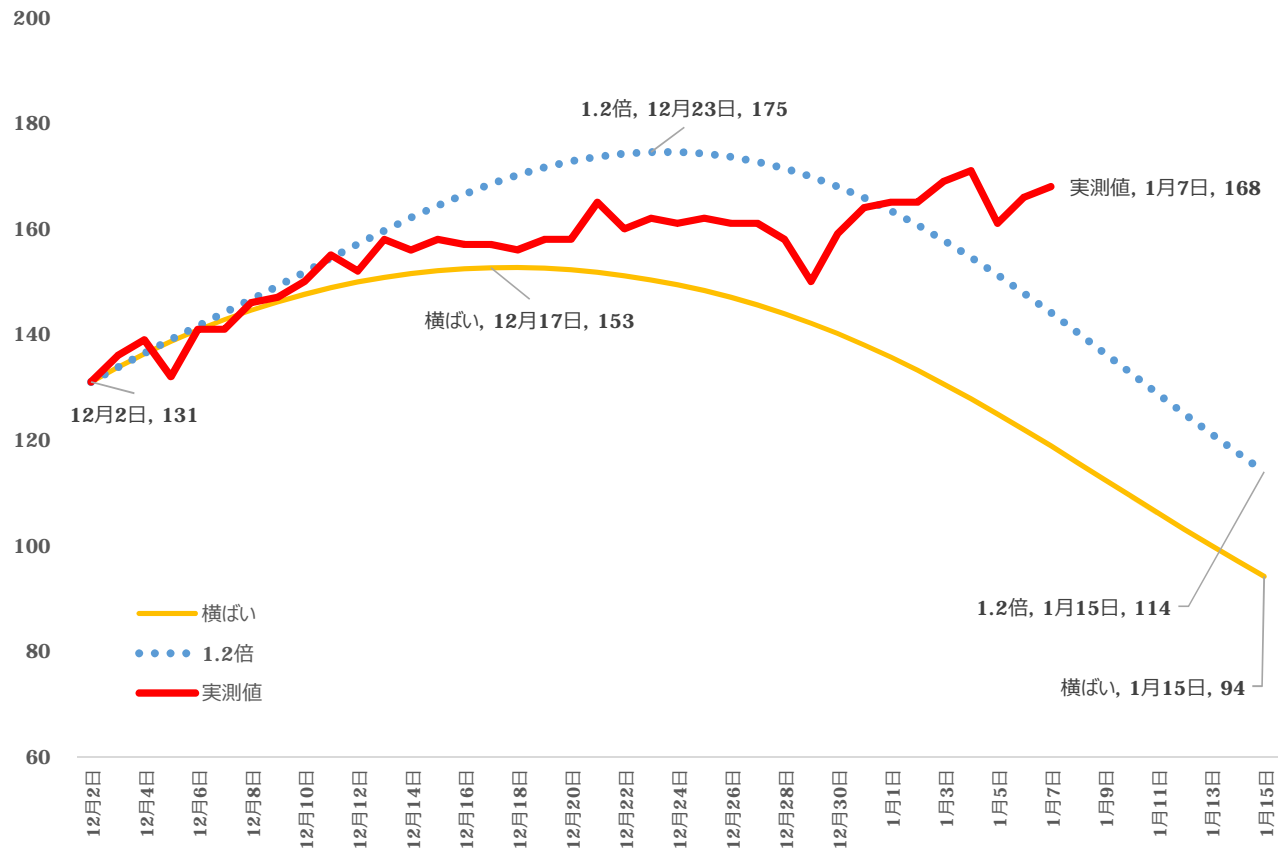
【重症率の設定の考え方】

- 新規陽性者数のうち、40代以上が55%(*1)と設定。40代以上の新規陽性者数における重症率を5.8%(*2)と設定（全体陽性者中の重症率が3%）。
- ※1: 10/10～11/23の新規陽性者数（6873名）のうち、40代以上の陽性者数（3792名）から算出。
- ※2: 第二波の実測値から算出
- 重症者のうち、31%は診断時に重症、69%は診断時は無症状・軽症だが、約3日後に重症化する（第二波実測値）。

【療養方法と期間の設定の考え方】

- 重症患者以外の陽性者のうち、22.8%は入院療養、34.7%は宿泊療養、42.5%は自宅療養となる（第二波実測値）。
- 重症患者の入院期間は約21日間で、軽症化した後退院する（第二波実測値）。
- 重症以外の入院療養者は約11日後に退院する（第二波実測値）。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除とする（第二波の宿泊療養者の療養期間から設定）。

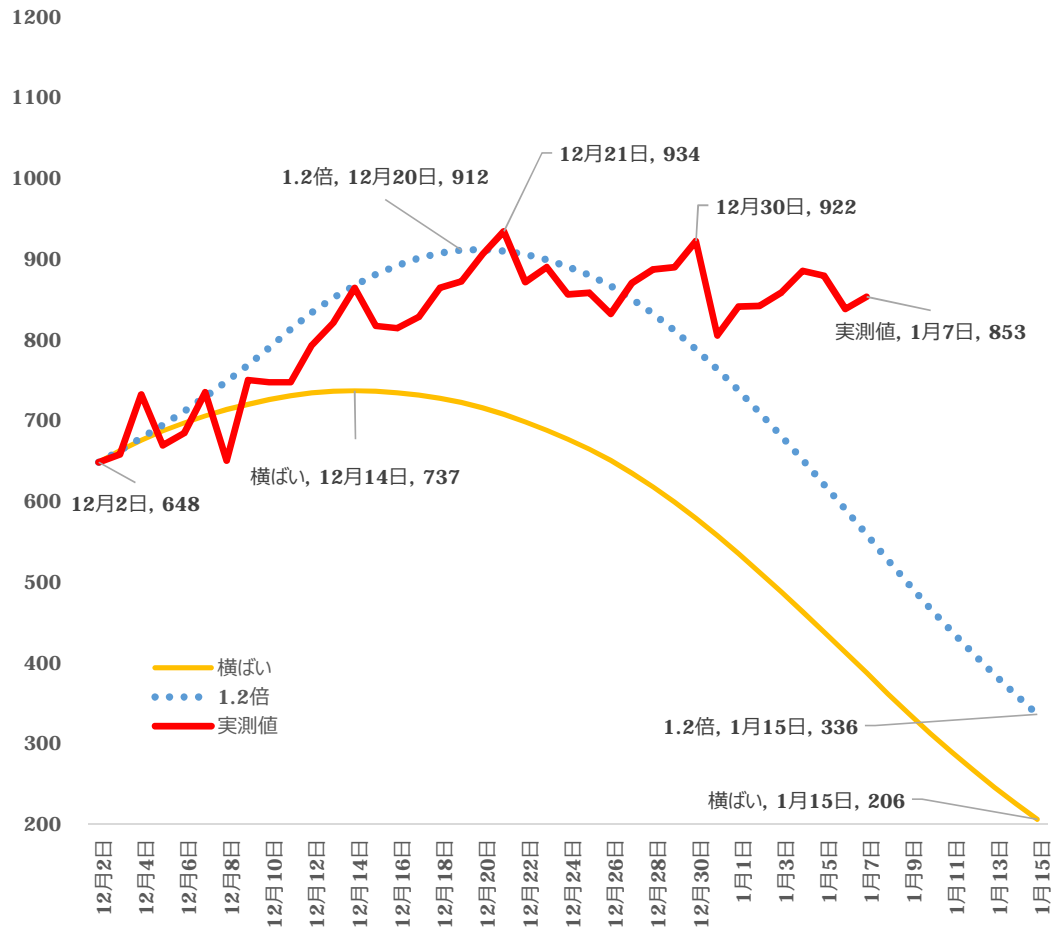
入院患者数（重症）シミュレーション



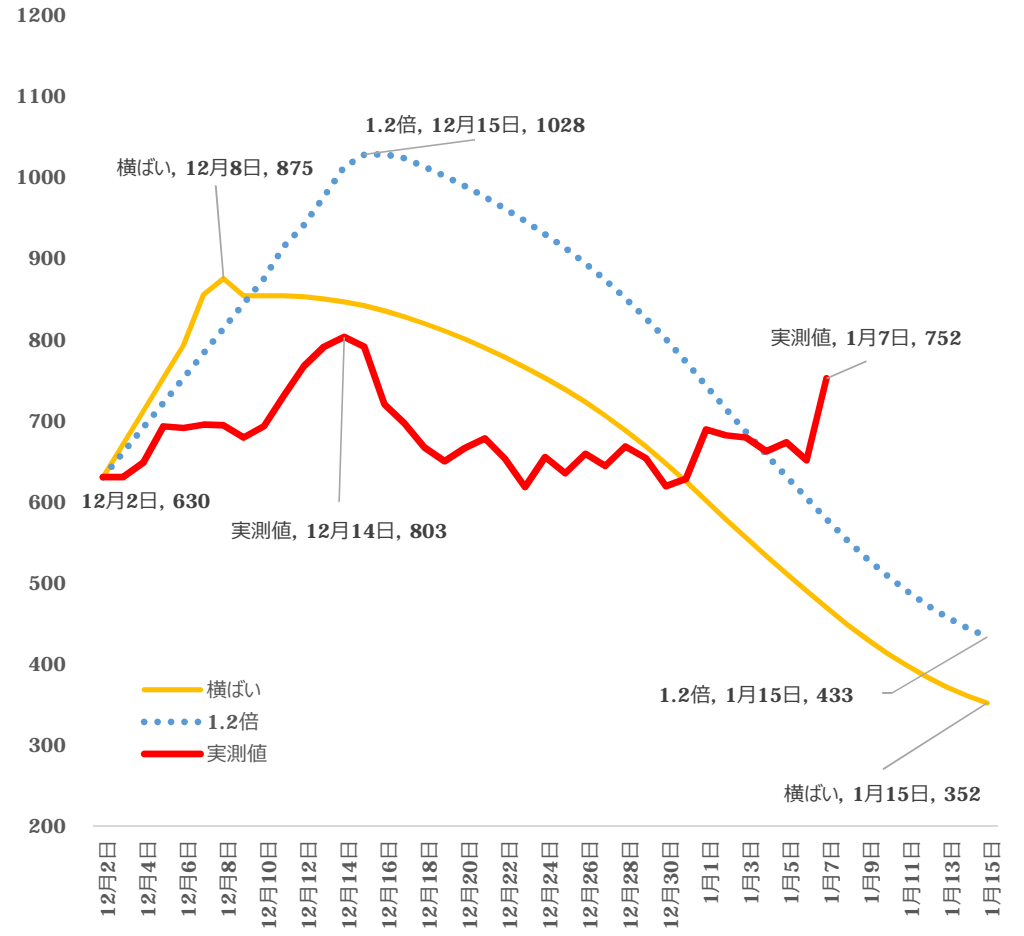
※実運用病床については、日々受入れ病院と調整し、病床を確保。
令和2年12月15日以降は「大阪コロナ重症センター」が運用開始。

療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



宿泊療養者数のシミュレーション



※実運用病床については、日々受入れ病院と調整し、病床を確保